



平成29年度

鳴門教育大学小学校英語教育センターポットラックセミナー第二弾

～新しい小学校外国語教育成功への秘訣～新学習指導要領徹底勉強会～

1月27日(土)、本学地域連携センターにおいて、平成29年度小学校英語教育センターポットラックセミナーの第二弾『新しい小学校外国語教育成功への秘訣～新学習指導要領徹底勉強会～』を開催しました。同セミナーは、食べ物を持ち寄って開くパーティーを意味する「ポットラック」を用いることで、参加者間で小学校外国語教育に関する経験や考え、課題や悩みなどを持ち寄り、共有することで小学校英語の課題を明確化することを目的としています。

今回のセミナーでは、新学習指導要領における小学校外国語教育に備えるべく、現行の学習指導要領や次期学習指導要領の策定・教材作成等に関わられた広島大学准教授の兼重昇先生、四国大学准教授のマーク・フェネリー先生、そして、教育行政および中学校教育の立場から次期学習指導要領への移行を支える徳島県教育委員会指導主事の滝川尚先生を講師としてお招きし、先生方のお話をうかがうとともに、参加者全体で、早期化される外国語活動、教科化される外国語科、中学校英語との接続などのあり方に関する理解を深め、新しい体制に向けて生じうる課題や対応策等について検討しました。当日は、33名の参加者があり、盛況のうちに終了しました。

本学小学校英語教育センターでは、今後もポットラックセミナーを開催し、現場課題の発見と参加者間での情報共有を通じた問題解決を図っていきたいと思います。

多数のご参加ありがとうございました。

◆【新学習指導要領の特徴と外国語科】

広島大学 准教授 兼重 昇 氏

◆【新学習指導要領 外国語活動(小学校)】

四国大学 准教授 マーク・フェネリー 氏

◆【新学習指導要領 外国語科(中学校)】

徳島県教育委員会 指導主事 滝川 尚 氏

◆ グループワーク・シェアタイム

コーディネーター 小学校英語教育センター所長 山森 直人



講話を行う
兼重 昇 氏

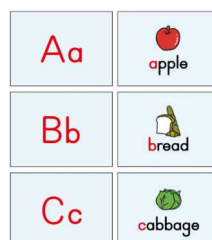
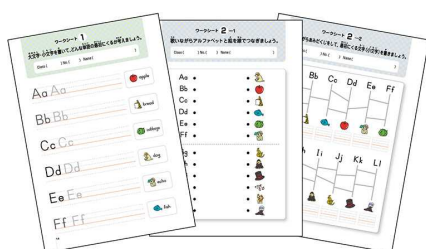


会場の様子

センター作成の教材「アルファベットの大文字・小文字を覚えよう」がDVD付き書籍として12月に発売されました。第2弾として「アルファベットの音を覚えよう」DVD付き書籍が4月下旬、発売決定しました。

この『アルファベットの音を覚えよう』では、フォニックスの歌をDVDで見ながら楽しく歌うことで、英語の初頭音の発音がきれいにできるようになり、カードやワークシートでその定着を図ることができます。

楽しく学べるワークシート&ピクチャーカード



小・中英語教育研修への講師派遣

A 小学校外国語における文字指導の示範授業

平成30年2月1日(木)、美馬市立脇町小学校の6年生2クラスで、外国語活動を行ってきました。美馬市は、平成29年度に鳴門教育大学と学術協定を締結し、主に本学小学校英語教育センターが、英語教育で協力していくこととなりました。その中の一つとして、今回、本センターと附属小学校が長年研究を続けその効果を立証してきた、英語の「文字指導」を実際に行い、先生方に正しい文字指導のあり方を理解していただく機会を設けました。

美馬市は、今までALT主導の外国語活動を実施してきましたが、今年度からは担任主導型に徐々に移行されます。その際、今まで「読む」こと、「書く」ことが外国語活動では扱われなかったため、今後その指導が始まることに不安を感じる先生も多くいらっしゃいます。今回の示範授業では、本センター制作の「アルファベットの大きい文字・小さい文字を覚えよう」を活用し、小文字の認知を高め、次に「サイト・ワード・リーディング」(簡単な絵本のなぞり読み)を体験させました。子ども達は、新しく知ることによって目をキラキラとさせ、積極的に友だちと小文字の成り立ちを考えたり、文字を指で追いながら一人でも流ちょうに英語を読む楽しさを感じていました。また、ALTの先生も、絵本のなぞり読みと、絵本に出てきた表現を使ってワークシートに書く活動に興味を示されました。

今後、美馬市では、本センターとの共同研究のために、きちんと系統立った英語教材(SWITCH ON! mpi社)をモジュール的に活用することで、児童の4技能統合に繋げていく指導を始めます。その一助となるべく、本センターも協力を惜しまず、児童の成長を見守りつつ先生方への支援を続けていく所存です。(畑江)



B 吉野川市小中連携英語教育研究会 英語教育ミニ勉強会

平成29年12月と平成30年1月、2月の計3回、吉野川市にお招きいただきました。吉野川市小中連携英語教育研究会が主催する小学校の先生方対象の「吉野川市英語教育ミニ勉強会」。市内小学校で勤務する先生方が自由に参加できる研修会です。

平成30年度からの移行期スタートに向けて、研修内容は、第1回が「授業づくりのポイントとアクティビティ講座」、第2回が「体験してみよう!学級担任が主導するTTの授業」、第3回が「新教材から見る求められる授業づくり」とし、新学習指導要領に沿った授業づくりについて実践的に学び合う時間を持ちました。

研修会後のアンケートには「『体験してみよう!...』の回だったが他校の先生方と共通認識して授業を考えることができる良い機会だと思った。実際的な研修でよく分かった」「新教科書を使用した授業展開例、クラスルームイングリッシュ、音声機器の導入の方法、すぐに授業に使えるような活動など、たくさん示していただき参考になった」などの声をいただきました。校務等で大変お忙しい中、研修会に熱心に参加していただき、勉強の機会を与えてくださった先生方に心から感謝しています。(佐藤)

